



## 2020年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月5日

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社

上場取引所 東

コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経営管理部長 (氏名) 篠崎 岳

TEL 092-260-5001

四半期報告書提出予定日 2019年7月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	43,711	1.2	0	99.7	2	98.8	47	
2019年2月期第1四半期	43,185	1.3	170		179		5	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	6.29	
2019年2月期第1四半期	0.72	0.72

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	38,767	14,214	36.5
2019年2月期	37,300	14,483	38.6

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 14,147百万円 2019年2月期 14,411百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期				30.00	30.00
2020年2月期					
2020年2月期(予想)		20.00		15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	92,000	3.9	1,200	7.0	1,200	6.0	600	0.1	79.31
通期	184,000	3.7	2,550	5.9	2,550	4.9	1,100	2.8	145.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期1Q	7,578,548 株	2019年2月期	7,564,648 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年2月期1Q	株	2019年2月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年2月期1Q	7,569,575 株	2019年2月期1Q	7,551,648 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期の経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における経済環境は、雇用環境の改善等はあるものの、海外経済の減速や貿易摩擦、生活物価の上昇傾向や国内自然災害の発生により、生活者の消費購買意欲については、依然として不安定な状況が続いております。

九州における食品小売業界におきましても、ドラッグストアやディスカウントストアの食品販売進出の拡大やコンビニエンスストアの出店攻勢等によって、お客さま獲得競争が激化しております。また、原材料及び資材価格の高止まりに加え、人手不足により物流コスト及び労働単価は上昇傾向にあります。さらに、食の安全安心を含めた品質を重視する傾向が強まり続けるなど、当社を取り巻く経営環境はより一層厳しさを増しております。

当社はこのような経営環境のなか、『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、社会から求められている存在意義を踏まえ、持続的成長を目指し、更なる生産性向上を推進するため、新規出店及び既存店の活性化を継続実施するとともに、熾烈な競争に打ち勝ちながら成長の原資を確保するための収益構造の改革に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間におきましては、事業基盤の拡大の要となる新規出店として、ザ・ビッグ大牟田店(福岡県大牟田市)を5月18日に、マックスバリュエクスプレス千早駅前店(福岡市東区)を同月23日にオープンしました。また、既存店舗の活性化として、5店舗の改装を行うとともに、1店舗の商品マッサージを実施いたしました。「ライフスタイル提案型」のマックスバリュモデルの活性化実績を基にして、地域のお客さまニーズの変化への対応を図り、商品構成や品揃えの見直しを実施するとともに、生鮮食品を中心に地域・地場商品の拡大を行い、店舗の外装及び店内設備も一新しています。

費用面では、慢性的な人材確保難や賃金の上昇による労務費用の増加、海外経済の動向や円安の影響による輸入商品・資材コストの増加、原油価格上昇による水道光熱費の高騰及び新規出店や既存店舗の改装によるイニシャルコストの増加等がありました。一方で、アプリ・SNSを活用した販促効率化の推進、人時不足に対応したお支払セルフレジの導入及び働き方を変える施策を実行することで、オペレーションコストの削減を積極的に推進しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高43,711百万円(前年同四半期比101.2%)、営業利益0百万円(前年同四半期は170百万円)、経常利益2百万円(前年同四半期は179百万円)、四半期純損失47百万円(前年同四半期は四半期純利益5百万円)と増収減益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,467百万円増加し、38,767百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1,112百万円増加し、18,095百万円となりました。主な要因は、売掛金が609百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末より354百万円増加し、20,671百万円となりました。主な要因は、2店舗の新規出店及び既存店の改装等により、有形固定資産が483百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1,736百万円増加し、24,552百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より1,810百万円増加し、22,494百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,463百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末より73百万円減少し、2,058百万円となりました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が80百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ268百万円減少し、14,214百万円となりました。主な要因は、四半期純損失及び配当金の支払により利益剰余金が274百万円減少したことによるものです。

(3) 今後の見通し

2020年2月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2019年4月10日の決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,724	8,840
売掛金	1,808	2,418
商品	4,580	4,947
貯蔵品	49	48
その他	1,820	1,840
流動資産合計	16,982	18,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,663	7,987
土地	2,875	2,875
その他（純額）	2,546	2,705
有形固定資産合計	13,085	13,568
無形固定資産	80	77
投資その他の資産		
差入保証金	4,669	4,567
その他	2,481	2,457
投資その他の資産合計	7,151	7,025
固定資産合計	20,317	20,671
資産合計	37,300	38,767

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,950	15,414
短期借入金	100	-
1年内返済予定の長期借入金	360	325
未払法人税等	683	107
賞与引当金	214	555
役員業績報酬引当金	29	-
店舗閉鎖損失引当金	33	-
資産除去債務	14	-
その他	5,297	6,091
流動負債合計	20,684	22,494
固定負債		
長期借入金	210	130
資産除去債務	1,106	1,134
その他	816	794
固定負債合計	2,132	2,058
負債合計	22,816	24,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,612	1,624
資本剰余金	1,457	1,470
利益剰余金	11,137	10,862
株主資本合計	14,206	13,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204	190
評価・換算差額等合計	204	190
新株予約権	71	66
純資産合計	14,483	14,214
負債純資産合計	37,300	38,767

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	43,185	43,711
売上原価	33,169	33,432
売上総利益	10,016	10,278
その他の営業収入	546	590
営業総利益	10,563	10,868
販売費及び一般管理費	10,392	10,868
営業利益	170	0
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	4
受取保険金	4	6
その他	4	0
営業外収益合計	17	15
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	6	12
営業外費用合計	9	13
経常利益	179	2
特別損失		
減損損失	130	-
特別損失合計	130	-
税引前四半期純利益	48	2
法人税、住民税及び事業税	101	37
法人税等調整額	△58	11
法人税等合計	42	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5	△47



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。